



平成18年 6月 23日

各 位

会社名 株式会社 ハルテック
代表者名 取締役社長 會 田 正
(コード番号 5916 東証・大証第1部)
問合せ先
取締役執行役員管理担当 北 垣 一 郎
(TEL . 03 - 5847 - 0411 代表)

「新中期経営計画」に関するお知らせ

当社は、平成17年度から平成19年度までの3ヵ年を計画期間とした「新中期経営計画」を策定し実行しておりますが、下記の通り計画の見直しを行いましたのでお知らせいたします。

記

1. 「新中期経営計画」の見直しについて

当社は平成17年4月、経営の新たなチャレンジ目標「新中期経営計画」を策定し、業容の拡大と収益体質の構築に向け全社を挙げて取り組んでまいりました。すなわち、生産体制の見直し、鉄構市場の開拓、固定費の削減等の施策を順次実施し、成果をあげてきたところであります。

しかしながら、鋼橋上部工事に関わる独禁法違反事件による、長期の指名停止処分が大きく影響して目標達成の目処がつかず、さらに、行政処分が終了した後は、かつてない低価格受注競争が激化し、収益の確保が極めて困難な状況に陥っております。

このような状況の中、当社の生き残りを図るために、「収益力の再構築」を重点課題として現行の中期経営計画を見直すことといたしました。

2. 「収益力の再構築」への施策

(1) 「採算統括部」の新設

従前の業務管理部、業務改善プロジェクト室並びに生産性向上推進室を統合して、企画グループ内に「採算統括部」を新設し、あらゆる変動費の削減による採算性の向上を目指します。

「採算統括部」は、採算性に関わる全部門の指揮・調整にあたります。

(2) 販管部門及び間接部門の合理化

販管部門及び間接部門における社員の多能化をベースに組織間の融合体制を構築します。

営業、技術並びに生産間接部門に所属するすべての社員の多能化と技術力の向上を早急に進めて合理化を徹底し、固定費を大幅に削減します。すなわち、収益力の再構築には、上記部門の固定費の大幅な削減が必要不可欠となっており、これを達成するために、各部門は多能化あるいは高度な技術に対応できる最小限の人員で構成することとします。

したがって、適材適所の原則に基づいた社員の配置転換、その他合理化の理念に合致するあらゆる施策を実施します。

子会社(株)ハルロードにつきましては、業務の効率化、および技術者の有効活用を図るため、2年後を目処に吸収統合します。

3. 業績目標

(単位：百万円)

	連 結		個 別	
	平成18年度予想 (平成19年3月期)	平成19年度目標 (平成20年3月期)	平成18年度予想 (平成19年3月期)	平成19年度目標 (平成20年3月期)
売上高	8,000	10,200	7,600	10,000
経常利益	300	100	300	100

平成18年度予想(平成19年3月期)につきましては、平成18年5月19日に公表いたしました業績予想数値を記載しております。

以 上